

一般社団法人日本解剖学会 2018年(平成30年)度第1回理事会議事録

日時：2018年3月27日(火)15:40～18:15

場所：日本医科大学武蔵境校舎・日本獣医生命科学大学（E棟2階中教室1）

出席者：岡部繁男(理事長)、木山博資、寺田純雄、八木沼洋行(以上、常務理事)、牛木辰男、大塚愛二、小澤一史、小路武彦、佐藤 真、島田昌一、篠田 晃、中村桂一郎、西 真弓、藤本豊土、藤山文乃、渡部 剛 (以上、理事)、渡辺雅彦(監事)、阪上洋行、松崎利行(以上常任幹事)、片桐 淳、中村 聡(以上、口腔保健協会)

欠席者：仲嶋一範(常務理事)、城戸瑞穂、千田隆夫(以上、理事)、松村讓兒(監事)

I. 理事長および第123回総会・全国学術集會会頭 挨拶

岡部理事長と小澤一史会頭より挨拶があった。小澤会頭より全国学術集會の参加者・演題数が例年よりやや多くバラエティーに富んだプログラム内容になっていること、また、若手の活性化や男女参画の観点から一般口演の座長を選定したことなど学術集會準備状況が説明された。

II. 議事録署名人の確認

定款第39条の規定により、渡辺監事が議事録署名人として選出された。

III. 會議記録の確認

2017年(平成29年)度第5回理事会（平成29年12月10日開催）議事録（案）の内容が確認され承認された。

IV. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 年会費納入状況について

資料に基づき、会員の年会費納入状況について報告があった。4年以上の未納者については全国学術集會後も未納状態が解消されない場合は除名処分とすることが確認された。また、理事に対して未納者に対して年会費納入を促すように協力を求めた。

(2) 賛助会員の退会について

資料に基づき、賛助会員の退会1件が報告された。

(3) 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任に伴う代議員申請者2名（西山正章氏・金沢大学・医・組織細胞学；寺山司氏 広島大学・歯・顎顔面解剖学）が常務理事会で承認されたことが報告された。

(4) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会運営委員会で検討されていた分担金の見直しが継続審議となり、現状維持となったことが報告された。

(5) 入会申込書の一部修正について

資料に基づき、事務局より今後の会員名簿作成作業の効率化を目指して作成された入会申込書の修正案が説明された。理事より記載事項に関する必要性や個人情報取り扱いに関する意見が出され、入会申込書の記載項目を検討し、再度提案することとした。

(6) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) ASI契約更新について

資料に基づき、シュプリングー・ジャパンと2017年12月20日に締結したASI出版契約に関して、主な新契約内容（契約期間、カラー無料化、販売利益分配の増額、準拠法など）が報告された。

(2) ホームページアクセス解析報告

資料に基づき、アウトリーチ委員会によるホームページアクセスに関する解析の結果（広告バナーアクセス数、スマホ・タブレットからのアクセス率など）が報告された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2018(平成30)年度第123回総会・全国学術集會準備状況について

資料に基づき、小澤会頭から全国学術集会の最終的なプログラム内容と演題数に関する報告があった。

(2) 2019(平成31)年度第124回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、第124回総会・全国学術集会の運営組織（会頭：影山幾男氏、副会頭：笹川一郎氏、石川巴喜夫氏、プログラム委員長：竹林浩秀氏）、大会期間(2019年3月27日～29日)、会場（朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター）、大会方針など大会内容の概要に関する準備状況が説明された。

(3) 認定二級技術者審査結果について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会による平成30年度認定二級技術者資格審査の結果（1名合格）が報告された。

(4) 認定一級技術者試験の到達目標作成について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会からの認定一級技術者試験の到達目標に関する修正内容が報告された。

(5) 技術職員に関するアンケート（サンプリング版）について

資料に基づき、解剖体委員会、教育・若手育成委員会、認定解剖組織技術者資格審査委員会の3委員会合同で予備的に行った技術職員における現状と課題についてのアンケートの内容と予備調査の結果が報告された。今後、技術職員の環境の改善、技術職員枠の安定的な確保、サージカルトレーニングに伴う技術職員の業務負担の軽減に向けてより説得力のある基礎データとするため、学会中に開催予定の3委員会合同会議で、全国版のアンケート内容について議論してもらう予定であることが報告された。

(6) 賞・研究費候補者選考委員会報告

資料に基づき、賞・研究費候補者選考委員会において、平成29年度奨励賞最終受賞候補者として、5名が選出されたことが報告された。また、選考委員会より、奨励賞の応募要件の年齢制限ではなく研究歴への変更に関する提案に対して、常務理事会で検討した結果、年齢制限については科研費の若手枠の基準よりもすでに応募しやすい条件であることや研究歴の算出の難しさから、現行の応募要件を維持したい旨、選考委員会に回答したことが報告された。

(7) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、第85回日本医学会定例評議員会（2018年2月28日開催）での議事内容が報告された。また、第30回日本医学会総会において新設された若手研究者を対象にした日本医学会総会奨励賞の学会推薦に関して、学会ホームページ及びOhasysを介して2018年5月30日まで公募し、応募者がいない場合、これまでの奨励賞受賞者の中から該当者を賞・研究費候補者選考委員会において検討し推薦する方針が提案されて、審議の結果、了承された。

(8) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、第17回生物科学学会連合定例会議の議事内容が報告された。高等学校の次期学習指導要領(案)について説明され、文部科学省のパブリックコメント募集に関して、会員に周知したことが報告された。

(9) 次期賞・研究費候補者選考委員会の構成について

資料に基づき、委員の投票による互選の結果、渡部剛氏（旭川医大）が委員長に選出されたことが報告された。

(10) 学術委員会アンケートについて

資料に基づき、第123回総会・全国学術集会で学術委員会により実施する総会・全国学術集会に関する参加者アンケート調査の内容とWeb上での実施方法が報告された。

(11) 8th APICAについて

資料に基づき、8th APICA 主催者のYoung Hyun Y00教授、Im Joo RHYU教授が、8th APICAの周知を総会冒頭で行う予定が報告された。また、岡部理事長から8th APICAへの参加と協力への期待が述べられた。

(12) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 平成30年度中間決算書について

資料に基づき、平成30年度2月次中間決算報告書（2018年1月1日～2月28日）が報告された。

- (2) 献体による外科手術手技研修に関するアンケート調査2018について
資料に基づき、献体による外科手術手技研修の現状と課題の把握に向けた解剖体委員会によるアンケート調査の分析結果について説明され、第123回全国学術集会の2日目のワークショップ及び第118回日本外科学会定期学術集会(2018年4月7日開催予定)のご遺体を使った手術手技研修の実施についての説明会において発表される予定であることが報告された。
- (3) 日本外科学会C S T推進委員会報告
資料に基づき、第2回CST推進委員会（2018年1月26日開催）の議事内容（平成30年度CST予算の増額、ご遺体を使った手術手技研修の実施についての説明会の開催など）が報告された。
- (4) 教育・若手育成委員会企画ワークショップに関連するアンケートについて
資料に基づき、中村桂一郎理事(久留米大・医)より第123回全国学術集会で開催される教育・若手育成委員会企画ワークショップ「肉眼解剖学周辺の解剖学教育のあり方」に際して実施したアンケート結果が報告された。
- (5) その他
特になし。

V. 審議事項

1. 平成29年度決算および業務監査報告の件（庶務・会計）
資料に基づき、平成29年度決算について報告された。渡辺監事により会計状況が健全であるとの監査結果が報告された。また、渡辺監事により、公益目的支出計画の完了に伴い、法令等の要請による実施事業等会計と法人会計との配分を記載する内訳表の作成と平成30年度決算から省略することが提案され、審議の結果、承認された。
2. 平成30年度予算および事業計画の件
資料に基づき、平成30年度予算および事業計画の内容が説明され、審議の結果、承認された。
3. 平成30年度定時社員総会資料と議長の確認（庶務）
資料に基づき、平成30年度定時社員総会理事会資料の内容と慣例に基づき議長として第123回全国学術集會会頭の小澤一史氏を選任することが報告され、承認された。
4. 解剖学雑誌電子化について
資料に基づき、雑誌電子化のための解剖学雑誌全巻の確保の見込みが付いたことより、今後、低価格の電子化業者により雑誌電子化を試みることを報告され、審議の結果、承認された。
5. 解剖学雑誌支部学術集会抄録について
資料に基づき、解剖学雑誌の編集管理費にこれまで含まれていた支部学術集会抄録PDF作成費について、解剖学雑誌の年1号への発行回数の変更に伴い採算が取れないため、1支部学術集会あたり15,000円で6支部学術集会分の総額90,000円（税抜）に改訂したいとの中西印刷（株）からの要望内容が報告され、審議の結果、承認された。
6. 日本脳科学関連学会連合代表者推薦について
資料に基づき、日本脳科学関連学会連合第9回評議員会（2018年6月8日開催予定）での議事内容が説明され、日本脳科学関連学会連合代表者の推薦に関して執行部に一任することで了承された。
7. 8th APICAへの海外派遣事業について（理事長）
資料に基づき、8th APICAでの日韓の解剖学研究者の交流促進に関する海外交流委員会での試案が説明され、韓国のYoung Hyun Y00教授、Im Joo RHYU教授との海外交流委員会（2019年3月29日開催予定）における議論の結果を踏まえて、必要に応じて特別予算で援助することで承認された。
8. 理学療法士学会からの依頼における対応について（会計）
資料に基づき、理学療法士学会からの依頼に関するWGでの検討内容が報告された。審議の結果、執行部がWGの検討内容を踏まえて理学療法士学会と今後交渉していくことで了承された。
9. 「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」の改訂案について
資料に基づき、臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドラインの改訂内容について説明され、手術手技研修の実施に際して、実施責任者の慰霊祭への出席、解剖学教室の負担増にならないような配慮、利益相反状態の報告の厳格化が新たに付け加えられたことが報告された。理事から手術手技研修の現状に関する様々な意見が出された。
10. その他

岡部理事長より、第126回(平成33年度)総会・全国学術集会に関して、第98回日本生理学会との合同大会として開催することが提案された。また、担当校ならびに会頭については日本生理学会との調整を経て来年度の定時社員総会で諮る予定であることが説明され、審議の結果、承認された。

上記の2018年（平成30年）度 第1回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人（監事）はここに記名押印する。

年（平成 年） 月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人